2018年2月8日

2018春季生活闘争の開始にあたっての談話

日本労働組合総連合会埼玉県連合会
会長　　近藤　嘉

連合埼玉は2月6日、大宮駅駅頭において、「2018春季生活闘争・闘争開始宣言集会」を開催し、県下において本年度の春闘がスタートすることを宣言した。

日本経済は回復基調にあるが、依然として個人消費は伸び悩み、労働分配率は低下を続け、企業規模間や雇用形態間、男女間などあらゆる格差は解消されていない。

連合は、「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを継続し、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」を組織内でさらに深め、社会のすみずみに広げていくことで「賃金は上がるもの」という常識を日本全体に取り戻していかなければならない。

中小企業・非正規労働者も含めすべての働く者の処遇改善のためにも、「サプライチェーン、バリューチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」、すなわち、企業と企業、企業と消費者の間で「働き方」も含めた取引の適正化が必要であるということを、個別労使のみならず、社会全体に向けて、あらゆる機会を通じて働きかけていく。

あわせて、長時間労働是正、雇用形態間の均等待遇実現や雇用安定に向けて取り組み、すべての働く者の命と健康を守り、健やかで働きがいのある職場・社会を実現していく。

今年の春闘では、【すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！】をスローガンにかかげ、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をめざす。そして労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たし、「経済の自立的成長」「社会の持続性」「ディーセント・ワーク」の実現へつなげていく。

具体的には、「月例賃金の引上げによる働く皆さんの処遇改善」「すべての労働者の立場にたった働き方の見直し」に向けて、加盟組合の交渉支援、経営団体への要請、県民の皆さんへのアピールなどを行っていく。

私たちは、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、「クラシノソコアゲ応援団」として連合埼玉、構成組織、地域協議会、各労働組合から職場に至るまで総がかりで行動し、最後まで粘り強く闘い抜く。

ひろく県民の皆さんのご支援ご協力をお願いしたい。

以上